

香川県 直島町議会

(事績2) 住民に開かれた議会

町内全戸に配布しているタブレット端末を使用して議会定例会及び臨時会の開催を周知するとともに、ホームページにおいても日程、一般質問、審議内容について掲載し、町民に傍聴を広く呼びかけている。

情報提供手段としては、先述のタブレットによる情報発信、ホームページによる情報発信とともに、昭和51年から議会広報紙として「議会だより なおしま」を年4回、定例会後に発行している。その紙面において審議内容や一般質問のやり取りを掲載するとともに、町内の各種団体や移住者などを紹介する記事を掲載するなど、町民にとって読みやすい内容になるよう工夫している。

また、昭和59年から現在まで毎年1回、地元の中学生の議会体験学習を開催し、全生徒が一般質問を体験し、町政に関心をもってもらえるようにしている。またその際、議長役も中学生が行い、議会運営も体験してもらっている。こうした体験は、現在はまだ議員定数を下回る欠員は発生していないものの、今後心配される議員のなり手不足などの課題に対する対策として非常に有効なものになっているし、将来を担う人材が育ってもらいたいと考えている。

今後も町民に身近で信頼される議会として、特に町において懸案とされる事項についての調査・検討を行いつつ必要な先進地視察等も行いながら、町民とともにより良いまちづくりができるよう取り組んでいきたい。